

平成 20 年 11 月 20 日

各 位

会 社 名 スギホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉浦 広一
(コード番号 7649 東証・名証一部)
問合せ先 社長室長 丹羽 淳
(TEL 0566-73-6300)

当社子会社による事業の一部譲受けに関するお知らせ

当社子会社であるスギメディカル株式会社は、傘下に非臨床事業、CRO事業、及び、SMO事業を行う子会社3社を新設するとともに、民事再生手続中である株式会社富士バイオメディックスの事業のうち、非臨床事業及びCRO事業を、また、株式会社富士バイオメディックスの100%子会社である株式会社富士クリニカルサポートの事業のうちSMO事業を、それぞれ新設会社に譲り受けることを決議し、平成20年11月20日付で基本合意契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業譲受けの理由

当社スギグループは、平成20年9月1日付でスギホールディングス株式会社を親会社とする持株会社体制へ移行するとともに、スギメディカル株式会社を新設し、医療事業への深耕を図ってまいりました。

スギメディカル株式会社においては、「地域医療連携の確立」、「新規医療事業への挑戦」、「薬剤師の職域の拡大」という3つの柱を掲げ、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

株式会社富士バイオメディックスは、非臨床事業、CRO事業、SMO事業を中心とした事業を行う中で、平成18年12月1日にSMO事業を分社化し、株式会社富士クリニカルサポートを設立、医薬品の開発に関わる支援業務の拡大を行ってまいりましたが、アンチエイジング事業等の買収を積極的に実施し事業拡大を図る中で、資金繰りが悪化する等の要因により、平成20年10月14日付で民事再生手続きの申し立てに至っております。

今般、スギメディカル株式会社は、傘下に非臨床事業、CRO事業、及び、SMO事業を行う新設会社3社を設立するとともに、民事再生手続中である株式会社富士バイオメディックスの事業のうち、非臨床事業及びCRO事業を、また、株式会社富士バイオメディックスの100%子会社である株式会社富士クリニカルサポートの事業のうちSMO事業を、それぞれ新設会社に譲り受けることを決議し、平成20年11月20日付で基本合意契約を締結いたしました。

スギグループといたしましては、グループの総力を挙げて、非臨床事業・CRO事業・SMO事業をサポートするとともに、他の治験関連企業・団体等との連携を強化し、我が国の医薬品開発の一助となるよう、努めてまいります。

2. 事業譲受けの内容

(1) 譲受け部門の内容

株式会社富士バイオメディックスの非臨床事業及びCRO事業、並びに、株式会社富士クリニカルサポートのSMO事業。

(2) 譲受け部門の経営成績（平成20年5月期）

	非臨床事業	CRO事業	SMO事業	合計
売上高	1,238百万円	1,357百万円	691百万円	3,287百万円
営業利益	△92百万円	257百万円	4百万円	169百万円

(注) 上記経営成績は、譲り受ける事業について、現時点において当社が認識している経営成績であり、譲り受ける事業を新設する子会社3社に区分した場合の数値であります。株式会社富士バイオメディックスより提出された有価証券報告書等に記載のセグメント情報及び経営成績とは異なります。

(3) 譲受け資産、負債の項目及び金額

譲受け資産、負債の項目及び金額につきましては、現在精査中であります。

3. スギメディカル株式会社の概要

(1) 名称	スギメディカル株式会社
(2) 主な事業内容	調剤薬局事業、在宅医療事業、訪問看護事業等
(3) 設立年月日	2008年9月1日
(4) 本店所在地	東京都品川区東五反田5-24-10
(5) 代表者	代表取締役社長 荒井 恵二
(6) 資本金	5,000万円
(7) 大株主構成及び持株比率	スギホールディングス株式会社：100%

4. 株式会社富士バイオメディックス、及び、株式会社富士クリニカルサポートの概要

(1) 名称	株式会社富士バイオメディックス	株式会社富士クリニカルサポート
(2) 主な事業内容	非臨床事業及びCRO事業	SMO事業
(3) 設立年月日	1984年12月20日	2006年12月1日
(4) 本店所在地	東京都千代田区神田駿河台2-5-23	東京都千代田区神田駿河台2-5-23
(5) 代表者	代表取締役社長 岩崎 稔	代表取締役社長 曾根 高志
(6) 資本金	51億8,603万601円	5,000万円
(7) 従業員数	1,557名	79名
(8) 大株主構成及び持株比率	東邦薬品 : 32.58% メデカジャパン : 8.45% カトーサービス : 4.36% バイタルネット : 3.14% キョーリン : 2.31%	富士バイオメディックス：100%
(9) 当社との関係	資本関係、人的関係、取引関係はいずれもありません	資本関係、人的関係、取引関係はいずれもありません

5. 日程

2008年11月20日	基本合意契約書締結
2008年11月28日	事業譲渡契約締結（予定）
2008年12月16日	事業譲渡期日（予定）

6. 会計処理の概要

本件の事業の譲受けについては、企業結合会計基準上の「取得」に該当する見込みであります。この処理に伴うのれんの発生の有無、及び、その金額については現時点では未定であります。今後、会計監査人と協議の上、決定してまいります。

7. 今後の見通し

本件の事業譲受けに伴う、平成21年2月期連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後内容が確定次第、速やかに開示いたします。

（ご参考：用語解説）

① CRO（開発業務受託機関）（Contract Research Organization の略）

医薬品を開発する製薬企業が実施する業務を、製薬企業と契約して代行する組織。

主な業務は、医薬品開発のコンサルティング、治験実施計画書案作成、モニタリング、品質管理・品質保証、データマネジメント、統計解析など。

② SMO（治験施設支援機関）（Site Management Organization の略）

特定の医療機関と契約して医師、看護師等による業務を支援することにより、医療機関での治験業務を支援する組織。

③ 非臨床試験

医薬品・医療機器、飼料添加物、農薬、化学物質、動物用医薬品等の研究開発において、サルやイヌ、ウサギ、マウス等の動物を用いて、効果や毒性を明らかにするための試験を行い、有効性と安全性を評価・証明するための科学的データを提供する。

以 上